

いきいき農林水産業者

部門	氏名（住所）	受賞理由
園芸	<div> <div>いわがき しん 岩垣 伸</div> <div>（北栄町）</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 令和３年にブドウ栽培を営む両親のもとでブドウ栽培を始め、令和４年４月に親元就農し、令和６年に父親から経営継承した。 主力品種としてシャインマスカット 20a を栽培。昨年まで栽培していたデラウェアを全てシャインマスカットに改植中(10a)。 現在は、生産部内の若手生産者組織「アグリエイト」に加入し、技術向上を図る研修会や若手生産者間の交流にも積極的に参加し、産地の活性化に意欲的に取り組んでいる。 令和６年より生産部の指導員に就任し、現在は黒系ぶどうの着色向上による盆需要期の出荷率の向上やシャインマスカットの高温障害、糖度向上、また、高齢化や後継者不足による産地の栽培面積の規模縮小等の北条ぶどうの課題に対し、指導員として様々な栽培試験や、作業の効率化等の省力化栽培にも取り組んでいる。
園芸	<div> <div>ながみ かつし 永見 勝志</div> <div>（大山町）</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 令和２年に就農、令和４年から補助事業を活用し、冷蔵庫の導入、機械整備等を行い、規模拡大を進めてきた。併せて全農野菜広域センターの活用、また共同育苗・共同防除による作業の共同化を進め、就農から５年で約７haの規模拡大を計画している。 令和５年にはスマート農業事業を活用しドローンを導入。産地に先駆けてドローン防除を取り入れている。また、減化学肥料栽培「きらきらみどり」にも取り組むとともに、令和７年にはＪＧＡＰ認証農場となり「大山ブロッコリー®ＪＧＡＰ」の出荷を開始。計画的に事業等を活用し、スマート農業技術を活用した栽培方法の検討、機械化と効率化による規模拡大、それに伴う雇用創出等によりさらなる経営発展を実践している。